



公明党府議会議員団 副団長
八重樫 善幸

大阪・関西万博は、SDGsが達成された姿

府民文化常任委員会から

▶府民文化部におけるSDGsの取り組みについて

◎ 大阪がSDGsの先進都市になることが、万博のレガシーにもなる。知事を本部長とする「SDGs推進本部」をおいた、全庁推進体制での取り組み状況は？

▲ 府民文化部においては、男女共同参画施策や、人権施策、消費者保護施策等、SDGsの掲げる目標と重なる施策に取り組んでいる。

「ジェンダー」に関するものとして、男女共同参画社会に向け、女性活躍を推進する事業者を表彰し、好事例を広く発信するなど、企業への啓発を実施。DVなど様々な問題を抱える人を支援するための相談事業に取り組んでいる他、「不平等の是正」、若年者への消費者教育や、高齢者の見守りネットワークの構築、相談事業に取り組んでいる。

▶「ジェンダー平等」に関する取り組みについて

◎ 大阪府が最も取り組みを強化すべき「ジェンダー平等」について、特に配偶者からの暴力等、いわゆるDVの根絶が喫緊の課題である。この改善をどう進めていくのか。

▲ 大阪府市内市町村におけるDV相談件数は、平成30年度は、16,166件と高止まりの状況。特に、若年層への意識啓発用に、高校生向けに作成したデートDVに関するリーフレットを作成し普及啓発や「DV被害者対応マニュアル」と「概要版」を作成した。

さらに、今年5月末から約3ヶ月間、阪急電鉄、阪神電車に、女性の約3人に一人がDVを受けている、などを掲載した啓発ポスターを「SDGsトレイン未来の夢・まち号」の車内に掲示するなど啓発に取り組んでいる。

【意見】世界経済フォーラムによるジェンダーギャップ指数は、149カ国中、日本は110位。全力をあげてSDGs推進に取り組むべき。



▶万博記念公園駅前に大規模アリーナを建設する事業について

◎ 府は、万博公園駅前に「大規模アリーナを中核とした大阪・関西を代表する新たなスポーツ・文化の拠点作り」を発表したが、その経緯は？

▲ 近年、国際的なスポーツ大会を開催するには、固定の観客席数が1万人を超え、競技床面積を十分に確保できるフロア等のスペックを満たすことが求められている。こうした大規模なアリーナは、現在、首都圏に2カ所しか整備されておらず、大阪は最大の大阪城ホールでも、固定観客席数は約9,000人、競技床面積は約3,500㎡に留まっている。また、今後の新規建設も、東京、神奈川、愛知で予定されているが、大阪・関西には予定がない。

◎ 地元の周辺住民の方から交通環境の悪化を心配する声があるが、大阪府として今後の交通対策をどうしていくのか。

▲ 交通環境については、大阪府において整備を行うこととしており、今後、吹田市や大阪高速鉄道株式会社等、関係機関とも連携を図りながら、しっかりと交通対策に取り組んでいく。

▶災害に備えたWi-Fi環境の整備について

◎ 今後の観光戦略を進める上でも、災害時に、外国人観光旅行者が情報を確実に入手できる、災害、停電時に備えたWi-Fi環境を整備して行くべきでは？

▲ 災害時や停電時における通信環境を維持するため、今後(宿泊税を活用し)非常用バッテリーや太陽光発電機能を備えたWi-Fi整備に対する補助を行う予定。現在、府内の主要ターミナル駅や大規模集客施設の管理者に対して働きかけており、旅行者の災害時の通信環境の維持に取り組んでいく。

【意見】災害時は、全世界から注目される時である。大阪は災害対策も万全であることをアピールできるよう備えておくべき。



●その他の質問

- ・文化振興基金の現状について
- ・メセナ自動販売機の設置状況について
- ・メセナ自動販売機の普及に向けた課題について
- ・メセナ自動販売機の普及及び寄付獲得に向けた今後の取り組み
- ・大阪アーツカウンシルについて
- ・大阪アーツカウンシルの設置による効果について

やえがし善幸 公式ホームページをリニューアル
<https://www.yaegashi-y.jp>

